

1971年6月17日第三種郵便物認可 (毎月6回5の日・0の日発行)

2017年1月6日発行 SSK 増刊通巻第4879号

SSK

会報 千葉視覚 No. 76

特定非営利活動法人

千葉市視覚障害者協会

## 《高原千葉村宿泊研修に参加して》

稲葉 順子 談

とても楽しい二日間でした。

私はのんびりしている方ですが、グループの皆さんも同じようなテンポで気を使わずに済み、夕食の後もみんなでゆっくりとおしゃべりを楽しみました。

こんにゃくパークでは、こんにゃくで作られたものがたくさんあるのでびっくりしました。

いっぱいお土産を買って重たかったけれど、お友達にもお裾分けしました。

バスの中でもなかなか楽しかったですよ。

(編集部インタビューによる)

## 《初めての体験（タンDEM自転車）》

11月13日（日）生まれて初めて千葉競輪場に行き、二人乗り自転車の試乗会に参加してきました。

千葉競輪場へは、モノレール千葉公園駅から徒歩で7、8分らしいのですが、ボランティアの方々が車で迎えに来てくれたので2、3分で着いてしまいました。

まず休憩所みたいな所に入りました。そこはかなり広いらしく、選手達が体を休める為かハンモックがいくつかあったようです。そこから競輪場まで歩いたのですが、その周りも選手達が練習できるようなスペースになっていたようです。

競輪場に着きとても広いことに驚きました。係の人の話だと一周500m位の広さがあり競輪場としては国内で広い方との話でした。

競輪場内には現在では使われていませんがテニスコートもあるそうです。コースはかなり傾斜のあるすり鉢状になっていて、追い越しする時など、上の方からかなりのスピードで走ってくるので怪我をする選手も多いそうです。

二人乗り自転車試乗の前に説明と注意がありました。自転車には前と後ろそれぞれにサドルとペダルがあります。前に乗る人のことをパイロットと呼びます。パイロットが乗ってから後ろが乗り、体を曲げないようにと注意がありました。

いよいよ試乗に入ります。みんな数十年ぶりに自転車に乗るので冷や冷やビクビクでした。私も50年ぶりに自転車に乗りました。パイロットの後ろに乗って試乗した時はちょっと怖かったです。でも慣れてきて競輪場内を走ると、歩いていた時とは違い風がとても爽快でした。二度三度乗るうち、パイロットの方がスピードを出したりちょっと上から下りてくれたりしてくれて、童心に帰った気がしました。

3月5日にもまたこのような機会を作ってくれるとの事でしたので、一人でも多くの方が参加して冒険と爽やかな風を味わって欲しいです。私も参加したいです。尚、この体験には当会から介助者を含め18名が参加し、他に市政だよりで応募した方もいました。

追伸、千葉公園の倉庫に眠っていた二人乗り自転車をボランティアさんが見つけ、整備してこのような場を作ってくれました。

松澤 明子 記

1971年6月17日第三種郵便物認可 (毎月6回5の日・0の日発行)

2017年1月6日発行 SSK 増刊通巻第4879号

## 会報 千葉視覚 No. 76

### 編集責任者

特定非営利活動法人千葉市視覚障害者協会

理事長 大石 千恵

住 所 〒263-0002

千葉市稲毛区山王町45-39

電 話 043-421-1233

メール FJP70125@nifty.com

### 編集担当

広報部 高梨 憲司 高橋 恵子

### 発行人

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

住 所 〒157-0072

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102号室

電 話 03-6277-9611

FAX 03-6277-9555

定価 550円 (会費に含む)